

令和3年9月3日

新型コロナウイルス感染者で宿泊療養や自宅療養をされている方に対する エコノミークラス症候群についての注意啓発のお願い

新型コロナウイルスに感染された患者さまには心よりお見舞い申し上げます。私たち循環器系学会・団体は、循環器・血管疾患の予防・治療に関わっている学会で、静脈血栓症・肺塞栓症、いわゆるエコノミークラス症候群の予防・治療に深く関わっております。

新型コロナウイルスに感染した方は、エコノミークラス症候群(足の静脈に血の塊ができて肺の血管に飛んで急に息ができなくなってしまう病気、肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症)の危険が高まってしまふことが、海外で報告されてきました。一方、日本では複数の報告によるとその頻度は海外ほど高くないことが報告されていました。発症者の多くは重症の新型コロナウイルス感染者で、宿泊療養や自宅療養できる軽症者では少数しか発症していませんでした。これらのデータに基づいて日本静脈学会は各学会と協働し“新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における静脈血栓塞栓症予防の診療指針”を発刊し、その主に病院内での予防に努めて参りました。

現在、新型コロナウイルス感染者で宿泊療養や自宅療養されている方が増加しております。頻度は少ないもののやはり、感染症があり狭い場所に閉じこもることになるので災害時と同じようにエコノミークラス症候群が増加する可能性があります。宿泊療養や自宅療養者が明確なエコノミークラス症候群が多く発症したとの報告はなく、過度に心配する必要はありません。しかし、私たちは、“害と益”を考えた上で災害時と同じように簡便な予防策をとることが新型コロナウイルス感染者の安全を守ることとなると考えます。

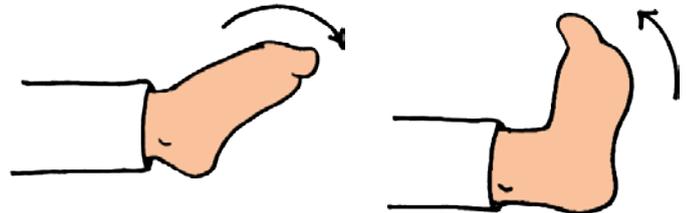
エコノミークラス症候群の予防に重要なことは、

①足を動かす

足首を曲げ伸ばしして上下に動かす運動をする

②水分を十分にとる

ことです。どうか添付の患者さん向けのシフレットをご覧ください



*さらに一部のもともとエコノミークラス症候群の危険の高い人は弾性ストッキング・包帯を上手に使用すると、予防効果は高まると考えられます。

また報道機関の皆様方に於かれましては、新型コロナウイルス感染者の方々に新聞、テレビ、ラジオ、ネットなどの報道を通して予防法を広報していただくと、発症リスクも減少するかとおもいます。何卒よろしく御願いたします。

日本静脈学会
肺塞栓症研究会